



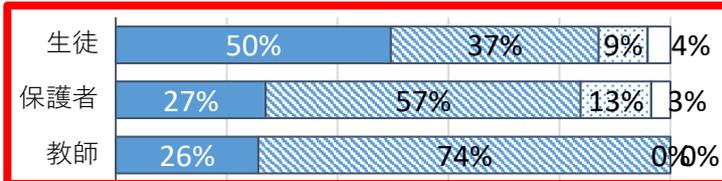
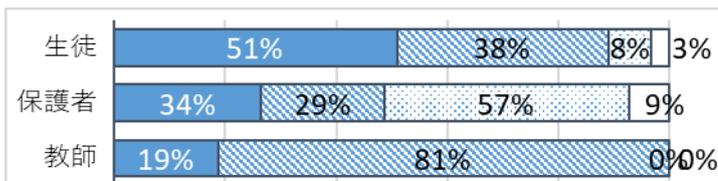
浅中十ウ

学校生活アンケート(2学期)への御協力ありがとうございました。

2学期末の学校生活アンケートへの御協力ありがとうございました。その結果を報告させていただきます。生徒との回答の比較や保護者独自の質問の回答について顕著な表れが見られた項目について示してあります。また、1学期の結果(グラフ)と比較できるようにしました。赤枠で囲ったグラフが、2学期末のアンケート結果です

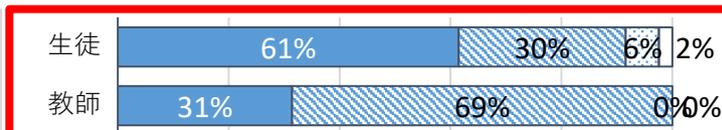
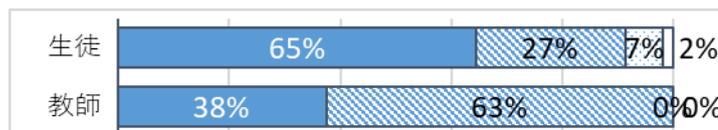


○「学校が楽しい」と感じている



新型コロナウイルス感染症予防対策を考える中で、今できる限りのことを考えながら、より一層「学校が楽しい」と感じられるように、支援していきます。

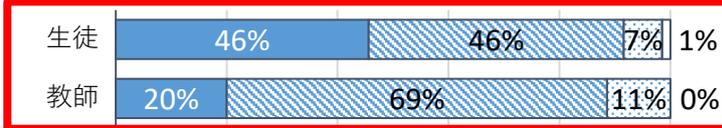
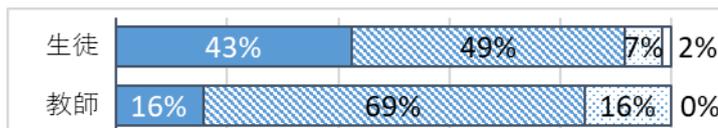
○「みんなで何かをすることは楽しい」と感じている



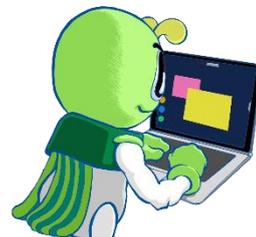
生徒にとって初めての合唱コンクールはよい経験になりました。日々の生活を大切に友達との関わりなど、学校生活の良さを味わわせていきます。



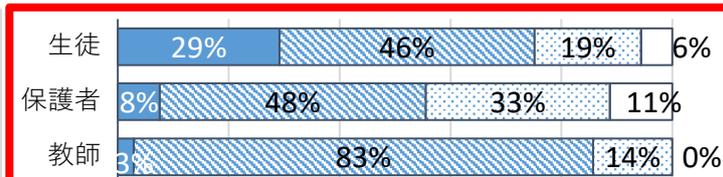
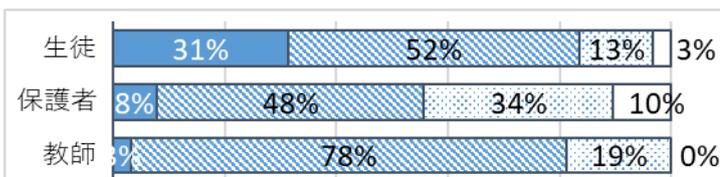
○「授業に主体的に取り組んでいる」と感じている



学園で行っている「任せて認める」指導をさらに深めて、一人一人の生徒に関わっていきます。



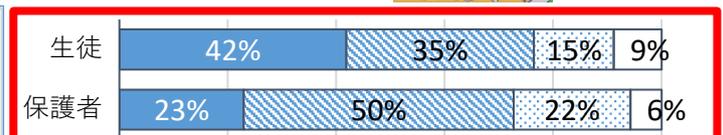
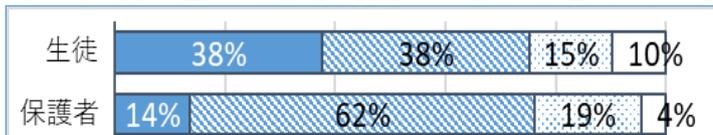
○「授業がよくわかる」と感じている



主体的に取り組む楽しさが、生徒たちの「わかる」につながって
いくように、一人一人の生徒を思い浮かべながら、教材研究を行って
いきます。

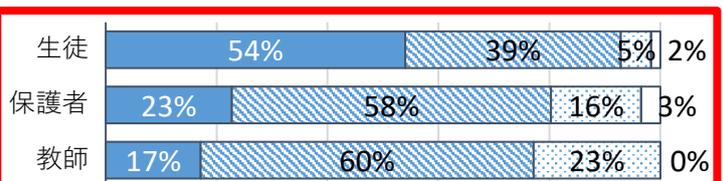
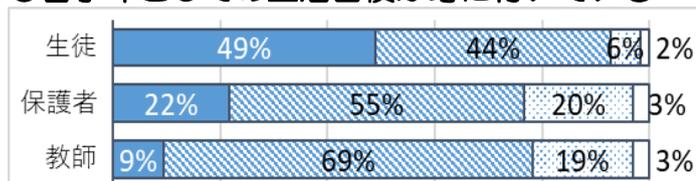


○「学校に信頼できる先生がいる」と感じている



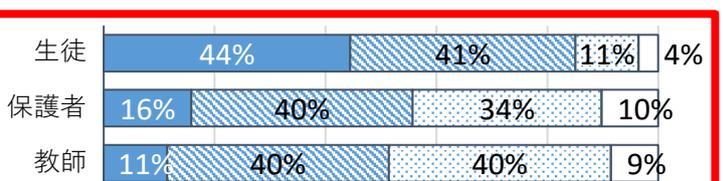
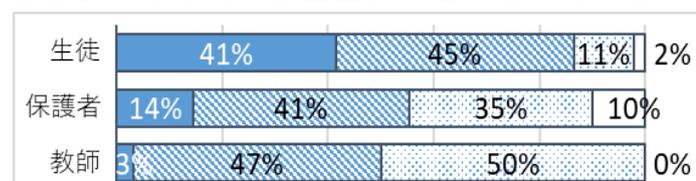
生徒の頑張りや良さを認める声掛けや関わる機会を増やし、生徒の気持ちに寄り添えるよう
にしていきます。また、御家庭とのつながりも丁寧に行っていきます。

○各学年としての生活習慣が身に付いている



ルールや時間を守ることなど、基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多くいます。より一
層自然に、そしていろいろな状況に応じて適切に表現できるように、支援していきます。

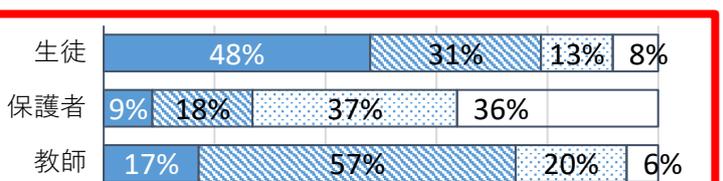
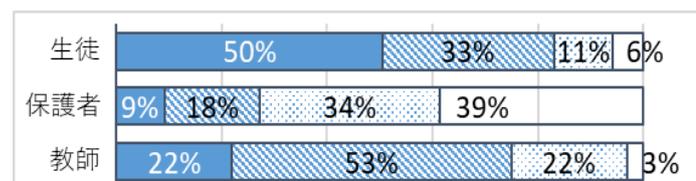
○各学年としての学習習慣が身に付いている



生徒や保護者が思うよりも、教師は前回よりも身に付いていると
感じています。生徒が自信をもって身に付いていると思えるように、
方法や考え方を示したり、できている生徒を認めたりしていきます。

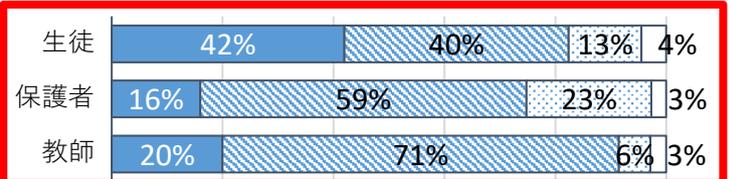
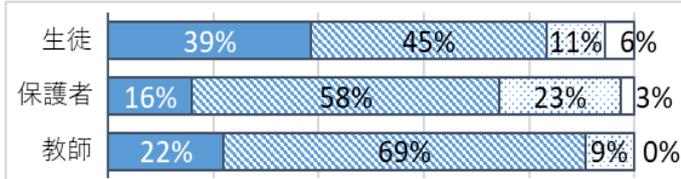


○読書習慣が身に付いている



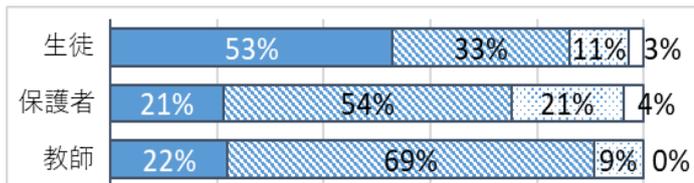
学校図書館も充実して、来館者も増えています。9月末にビブリオバトルを全校で行い、3学
期に入りストーリーテリングをボランティアの方に行ってもらっています。より一層自然に本
を手にとってもらえるよう、生徒会活動や授業、学級で取り組んでいきます。

○自分の良いところを伸ばしている



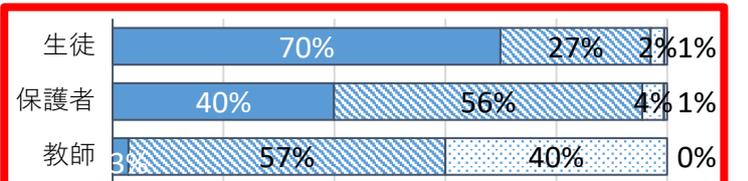
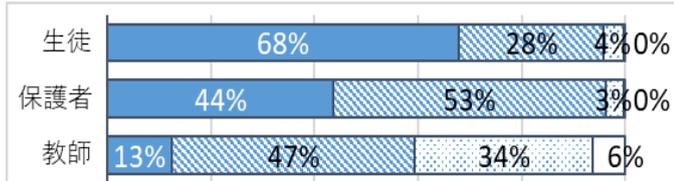
より一層関わり合いを大切にしていき、教育活動の中で、良い表れを認めていながら、自己有用感、自己肯定感が高まっていくように支援してきます。

○健康を意識して生活している



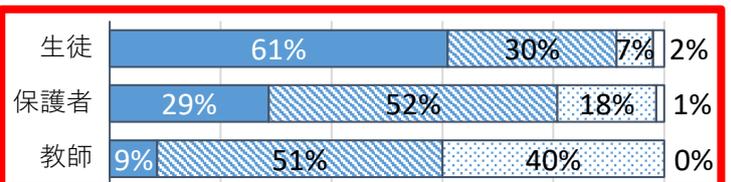
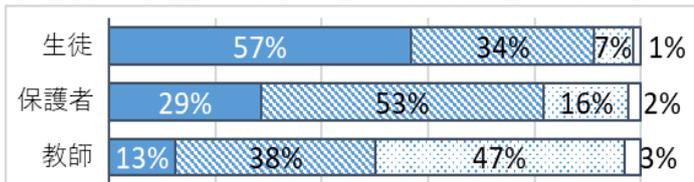
自分の健康を意識して考えられるように、毎月の「健康の日」、「保健だより」を有効に使い、一人一人の健康に対する意識の向上を図っていきます。

○交通ルール、マナーを守っている



交通事故や地域からのマナーに関する御指摘もあります。マナーと同時に「自分の命は自分で守る」指導を学校でも行っていきます。御家庭でも学校同様の指導をお願いします。

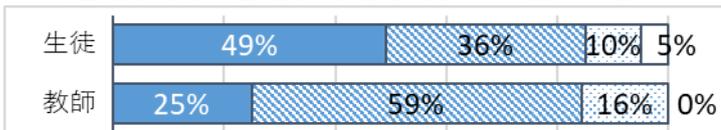
○自分から進んであいさつや会釈をしている



挨拶は、お互いが心を開いて近づき、人間関係を築く第一歩です。挨拶の大切さを知り、まずは、大人自ら手本となっていきます。



○生徒会（対面式、生徒総会、壮行会、委員会等）や学校行事（遠足、校外活動、修学旅行）に進んで参加している



ステージ集会の運営、厳寒期の服装について、制服検討、体育大会プロジェクト委員会等、生徒会本部が中心になり、生徒会で自ら考えて取り組んでいる機会が増えています。今後も様々なことに対して支援していきます。

○清掃活動に積極的に取り組んでいる



校舎の構造上の関係で、風が吹き込み、ほこりなどが目立つようになりました。昨年度より、1回清掃時間を増やしました。さらに清掃時間を充実させる黙働清掃や見つけ清掃、ボランティア清掃等の質の向上を図っていきます。

○進んで地域、学校、学級のために役立つ活動をしている



感染症等へ対応で、ボランティア活動に制限がありますが、学校、学級のために活動している生徒は大勢します。頑張りを認め、称揚していきたいと考えています。地域での生徒の頑張りが見られましたら、連絡をいただければうれしく思います。

○子どもと一緒に、子どもの将来のこと（夢や希望）について話すことがある



御家庭でも大人の経験を語っていただけると、自分の将来がイメージしやすくなります。今後、学校でも、進路（生き方）について様々な機会を設定していきます。

○テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを一緒に決めている

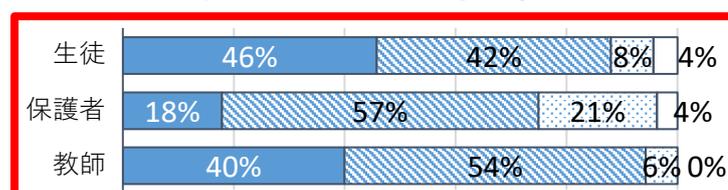


今年度、初めてノーメディアチャレンジを行いました。一人一人自分の現状を考えたチャレンジができていました。

情報機器の取り扱いに関するトラブルが後を絶ちません。自分事として、モラル向上の大切さや依存の怖さなど捉えていけるようにしていきます。御家庭でも約束事や使い方など指導をお願いします。必要ならば、専門機関への相談もお薦めします。

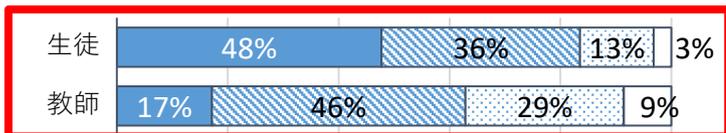


○先生は、学習、生活、行事、生徒会活動・部活動など、活動の中で、結果だけでなく、意欲や過程を考え、みなさんを励ましたり任せたり、意欲や頑張る姿に対して、認めてくれたり声を掛けてくれたりしてくれていますか。



浅羽学園では、今年度「任せて認める」指導を実践しています。生徒、保護者の受け止め方を考え、来年度に向けて、わかりやすく伝えるように取り組んでまいります。

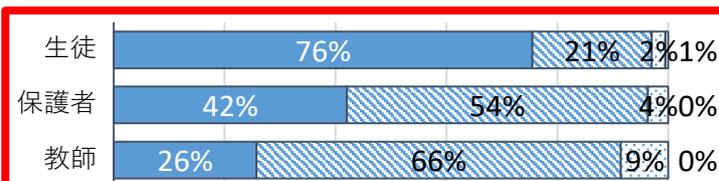
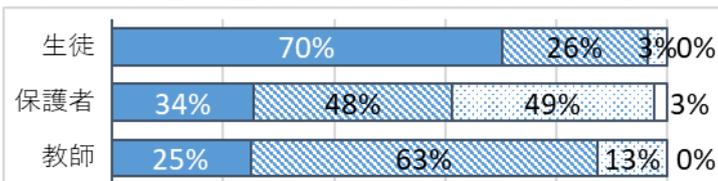
○登下校中に地震が起こったときの避難方法を知っている。



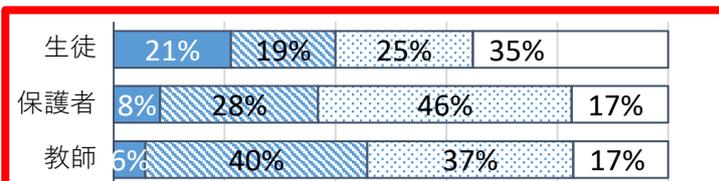
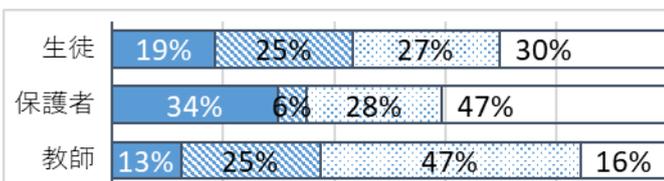
教育活動の中でも年 3 回の避難訓練を実施しています。今後、告知なしの訓練も行っていきながら、自ら考えて行動できる力を養っていきます。

また、地震以外にも自然災害は私たちを襲ってきます。「備えあれば憂いなし」を忘れず、御家庭、地域でも準備ください。

○コロナ感染症予防対策を十分行っている



○コロナ感染症に対して、不安を抱えたまま生活している

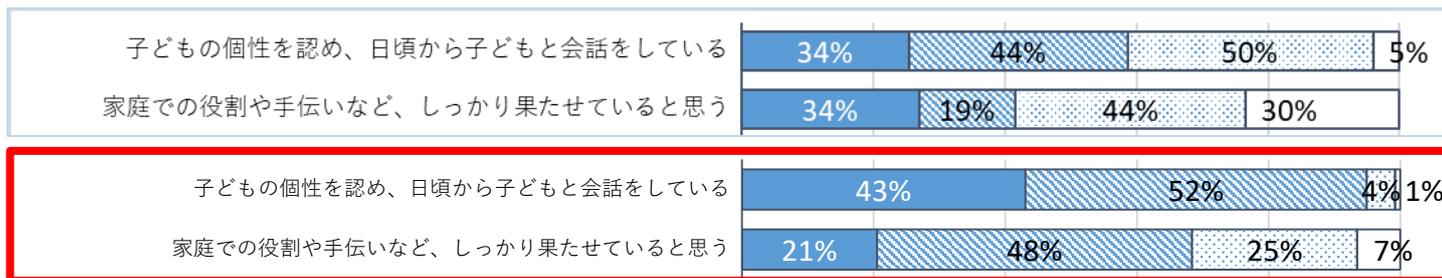


家庭、学校等で感染症への対応を行い始めて3年が経とうとしています。学校では、市のガイドラインを元に、感染症対策を行っています。マスクの着用については、生徒の健康面を配慮して、外すことが妥当と考えられる場合は、3密が十分に回避されていることを条件に外してよいとしています。今後も国や県、市の感染症対策基準を受けて、中学校でも対応をしていきます。感染症対策、対応に様々な御意見があるかと思いますが、集団での生活をする学校では、全ての生徒の安全・安心を第一に考えての対応であることを御理解いただけたらと思います。

感染症について、正しく理解することが不安を減らすことにつながると考えます。ただ、生徒を含めた多くの方が、「感染したら大丈夫か」「感染したことが周りに知られないか」等の不安を抱えていることもあります。学校では、生徒が悩みやストレスを感じている場合は、必要に応じて養護教諭やスクールカウンセラーなどによる支援も行っていきます。



<保護者のみ>



<自由記述> 全体に関わる内容について、中学校の現状、考え等を記載しました。個別のご意見等については、学級担任より直接御連絡させていただきました。

○新型コロナウイルス感染症への対応について（マスク着用・黙食等について）

「袋井市学校教育活動ガイドライン」や文部科学省から出されている『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』を元に感染症対策を実施しています。

【文科省 HP https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html】

黙食については、「換気がしっかりできている」「2mの間隔を開けることができている」この2つの感染症対策ができていれば、小声で会話することができるようになりました。しかし、本校の教室環境では、適切な距離をとれないため、引き続き現在の対応を継続していきます。

○学習について（宿題等について）

どのように学びに向かわせるかが大切だと思います。各教師が日々指導していますが、まだまだ改善の余地があると痛感しています。生徒一人ひとりで状況が異なるため、宿題の量を増やせば解決する問題ではないと考えています。来年度に向けて中学校では、生徒、保護者、教師が同じ捉え方で、宿題に取り組んでいけるような「浅羽中としての宿題の在り方」について考えています。

○生徒の成長について（モラル、マナー、ルール等について）

年度当初、学校オリエンテーションで全校生徒には、生徒指導主事や生活担当の教員から話をしております。また、道徳や学級活動等でも心を耕す指導を行っています。いろいろな場面におけるお子様の言動に対しても機会を逃さず、指導しています。御家庭に協力をお願いすることもあります。今後も家庭、地域、学校と三位一体になり、お子様に関わっていければと考えております。

○学校からの連絡、情報配信について（コドモン、学校ホームページ等について）

本年度の途中から、市内の小中学校ではメール連絡アプリ「コドモン」を導入しました。小・中学校の両方の連絡を受ける御家庭もありますので、中学校から配信する『件名』には、【浅羽中・〇〇】として送信していきます。また、「緊急連絡」以外は、メールでの配信を行いませんので、「コドモン」アプリを開いていただき、「お知らせ」「資料室」の確認をお願いいたします。

昨年度から、「月予定」「学校だより」等について、紙媒体での配付を見直してきました。コドモン「資料室」や学校ホームページ「学校ブログ」「学校からの便り」を活用して、家庭や地域に情報配信を行っています。情報配信、ホームページ更新をできるだけ早く行っていきますので、御家庭で資料室やホームページを見ていただけたらと思います。

○資源回収について（地区の生徒数減少による課題）

在校生のいない、または少ない地区で活動が困難な場合には、地区での回収ではなくご協力いただける方に直接回収会場に搬入していただき、各地区の負担のないようにしていきたいと考えています。あらかじめご連絡いただければ、地区へのお知らせの内容を変更しますので、事前にご相談ください。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

○厳冬期の過ごし方について（登下校時の服装）

生徒会で話し合いをもって、スカートを履いて登校している生徒について、寒いと感じるときはジャージで登校することが可能となりました。